

甲野

乙野

農家住宅の場合

記入例

農地法第5条第1項の規定による許可申請書

平成〇〇年 〇月 〇日

京都府知事 様

譲受人 (借人) 氏名 甲 野 太 郎 印

譲渡人 (貸人) 氏名 乙 野 次 郎 印

下記のとおり転用のため農地(採草放牧地)の権利を設定(移転)したいので、農地法第5条第1項の規定により許可を申請します。

連絡先を記入してください

記

1 当事者の住所等	当事者の別	氏名	住 所				職業			
	譲受人 (借人)	甲 野 太 郎	京都府舞鶴市字北吸〇〇番地		Tel.00-0000		農業兼会 社員			
	譲渡人 (貸人)	乙 野 次 郎	京都府舞鶴市字浜△△番地		Tel.△△-△△△△		農業			
2 許可を受けようとする土地の所在等	所在		地目	面積 m ²	利用 状況	10 a 当 たり普 通収穫 高 kg	所有権以外の使用収益 権が設定されている場 合 権利の 種類	権利者の氏 名又は名称	市街化区域・市 街化調整区域・ その他の区域の 別	
	舞鶴市字〇小字△番地		田	田	324	水稻	350		市街化調整 区域	
	計		324 m ² (田	324 m ² 、畑	m ² 、採草放牧地		m ²)			
3 転用計画	(1) 転用の目的	農家住宅		(2) 権利を設定し又は移転しようとする理由の詳細 現在の家は山の斜面に建ており危険で日当たりも悪いため 申請地に新たに建築したい。現家屋は新居完成後取り壊す。						
	(3) 事業の操業 期間又は施設の 利用期間	23年11月1日から		永年						
	(4) 転用の時期 及び転用の目 的に係る事業 又は施設の概 要	工事計画	第1期(着工 許可後 年月日から23年10月30日まで)			第2期		合 計		
			名 称	棟数	建築面積 m ²	所要面積 m ²		棟数	建築面積 m ²	所要面積 m ²
土地造成					324				324	
建築物		木造2階建住宅	1	179			1	179		
小 計			1	179	324		1	179	324	
	工作物									
	小 計									
	計		1	179	324		1	179	324	
4 権利を設定し又 は移転しよう とする契約の内容	権利の種類	権利の設定・移転の別		権利の設定・移転の時期		権利の存続期間		その他		
	所有権	設定 移転		許可後即時		永年				
5 資金調達につ いての計画	造成費 = 3,000,000円		建築費 = 20,000,000円		土地取得費 = 5,000,000円					
	自己資金 = 10,000,000円		借入資金 = 18,000,000円		その他(補助金) = 円					
6 転用することによ って生ずる付 近の土地・作物・ 家畜等の被害防 除施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> 土砂の流出防止対策： 隣接農地との境界にブロック擁壁を設置する。 雨水排水対策： 新設水路に集水後、既存水路へ放流する。 汚水・生活雑排水対策： 公共下水道へ接続する。 その他： 									
7 その他参考と なるべき事項	道路法第24条承認申請手続中									

甲野

乙野

露天駐車場の場合

記入例

農地法第5条第1項の規定による許可申請書

平成〇〇年 〇月 〇日

京都府知事 様

譲受人（借人） 氏名 甲野太郎 印

譲渡人（貸人） 氏名 乙野次郎 印

下記のとおり転用のため農地（~~採草放牧地~~）の権利を~~設定~~（移転）したいので、農地法第5条第1項の規定により許可を申請します。

連絡先を記入してください

記

1 当事者の住所等	当事者の別	氏名	住所				職業			
	譲受人 (借人)	甲野太郎	京都府舞鶴市字北吸〇〇番地 Tel.00-0000				農業兼会社員			
	譲渡人 (貸人)	乙野次郎	京都府舞鶴市字浜△△番地 Tel.△△-△△△△				農業			
2 許可を受けようとする土地の所在等	所在		地目	面積 m ²	利用 状況	10a 当 たり普 通収穫 高 kg	所有権以外の使用収益 権が設定されている場 合 権利の 種類	権利者の氏 名又は名称	市街化区域・市 街化調整区域・ その他の区域の 別	
			登記	現況						
	舞鶴市字〇小字△番地		田	田	100	水稻	350			市街化調整 区域
計			100 m ² (田	100 m ² 、畑	m ² 、採草放牧地		m ²)			
3 転用計画	(1) 転用の目的	露天駐車場		(2) 権利を設定し又は移転しようとする理由の詳細 息子夫婦と同居することとなり、所有の駐車場が手狭となったため、既存駐車場と隣接している申請地を新たに駐車場としたい。						
	(3) 事業の操業 期間又は施設の 利用期間	△△年 △△月 △△日から		永年						
	(4) 転用の時期 及び転用の目的 に係る事業 又は施設の概 要	工事計画	第1期(着工 許可後 年月日から 年 月 日まで)			第2期		合計		
			名称	棟数	建築面積 m ²	所要面積 m ²		棟数	建築面積 m ²	所要面積 m ²
土地造成					100				100	
建築物										
小計					100				100	
工作物										
小計				100				100		
計				100				100		
4 権利を設定し又 は移転しようと する契約の内容	権利の種類	権利の設定・移転の別		権利の設定・移転の時期		権利の存続期間		その他		
	所有権	設定 移転		許可後即時		永年				
5 資金調達につ いての計画	造成費 = 1,000,000 円		建築費 =		円		土地取得費 = 1,000,000 円 (坪単価 30,300円)			
	自己資金 = 2,000,000 円		借入資金 =		円		その他(補助金) = 円			
6 転用することによ って生ずる付 近の土地・作物・ 家畜等の被害防 除施設の概要	<ul style="list-style-type: none"> 土砂の流出防止対策： 東側に隣接する畑の境界にはコンクリート擁壁を設置し、土砂・雨水流出を防ぐ。 雨水排水対策： 周辺にU字溝を設け、既設の道路側溝へ流す。 汚水・生活雑排水対策： その他： 									
	7 その他参考と なるべき事項									